

明けましておめでとうございます。昨年は光受寺のより開かれた寺としての歩みに、様々にご協力をいただきましてありがとうございました。住職として今すべきことは何かを模索しながら歩んでまいりましたが、まだまだできることは多々あるように思っております。小さなことも継続することの辛さはあるのですが、またそれ以上の喜びも味合わせていただいております。

今年一年、また微力ながら皆様のお力をお借りし、より開かれた寺の運営に取り組んでいきたいと考えていますので今まで以上のご理解とご協力のほどよろしく願いをいたします。

さて、最近頓(とみ)に思うようになったことがあります。それは様々なことにおいて、ますます真実の見えにくい時代になってしまったなあ、ということです。

たとえば、「つい本音を言ってしまってから、それを取り繕うために躍起になっている」人たちをTVなどでよく見ますが、事の良し悪しは別として、私は「分かりやすくいいわ」と思います。しかし「本音は包み隠して」が美談として受け止められるところのある日本の風土は、本音を見ない、知らない方が社会生活をスムーズ送るには都合が良いのかもしれませんが。これが世間を渡る「術」(すべ)と言われるのは、おもしろいものです。

新年の「あいさつ」

責任役員 Y T

明けましておめでとうございます。昨年も多くのお寺の行事にご協力いただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで全ての行事を滞りなく終えることができました。

さて、「一年の計は元日にあり」とは申しますが、私も今年一年、何か目標を立てて臨みたいと考えています。私も高齢となり、振り返ればよくも「これまで生きてこれたものだ」と思っています。が、すべては他力のお蔭とまごあるとしみじみと思われます。生きて来たのじゃない、生かされてきたのだと目に見えない力に対し、ただ感謝の思いが深まるばかりの今日この頃です。

今年一年も感謝の思いを忘れずに生かされていきたいものだと考えています。最後になりましたが、お寺が皆様にとっぺますます必要な存在となつてくよう、皆様との信頼関係を大切にしながら、寺の運営に関わつていきたいと思つていきます。皆様のご健勝を願ひ新年のご挨拶とさせていただきます。



皆様方、今年はどうな思いで新しい年を迎えられましたか？

去年今年 貴く棒の如きもの 高浜虚子

私にとっては年が明けても何が特別変わるということもないのですが、やはり「お念仏ひとつ」を心の拠り所として、日々生きていくことを大切にしたいと思っております。本年もよろしくご指導いただけますようお願いいたします。 合掌

今月の法語

極楽は日々に近くなりけり

あわれつれしき 老いのへれかな

帖外御文第111通

極楽に往生できる時が、日に日に

近づいてきました。ああ何とつれしい

老いの境涯でしょうか。

春のしめじ

光受寺春の催しの案内。

昨年の初冬は厳しい寒さでした。気候の異常と一口に言ってもありますが、気候が異常なのではなく、人間のしていることの結果が異常な状態を生み出しているだけなのでしょう。

さて、本年も光受寺では様々な催しを予定いたしております。

光受寺の境内、本堂、庫裏をお借りして、教化活動の一環としての観梅会、つりびな、書画展などを行わせていただきます。

一月二十四日～三月十一日(日)

○観梅会 ライトアップ **三月二日(土)十日(日)**

○秀瑤書院展 堂内にて

○つりびな展示 庫裏にて

○高橋啓子 日本画展 聴風庵 ミニギャラリーにて 等

いずれも六時～八時 雨天中止

ぜひお越しください、お待ちしております。



今年の

その他の行事、催し予定。

三月二十一日(水) 春の永代経

七月十日(交) 十日講

九月二十三日(日) 秋の永代経

九月二十九日(土)～三十日(日)

本山奉仕

十二月三日(日) おみがき

十二月九日(日) 報恩講

門徒総会

平成二十九年年度

報恩講 十二月十日(日)

心配されたお天気も意外に穏やかで例年より以上の多くのご参詣をいただきました。



特に午前の参詣者は多く満堂であったように思います。また、お話しいただいた「法話」に感動をした、この声も届けられ、大変うれしく思っています。

お手伝いいただいた多くの門徒の皆様には、準備から当日、お供え配りまで大変ご苦労をお掛け致しました。本当にありがとうございました。

多くの方のご協力で、今年も報恩講が迎えられました。ありがとうございました。
おみがき 12/3



除夜の鐘 29年度

12月31日。朝から曇天で小雨模様。心配はされましたが、夜半には雨もあがり意外に暖かい夜となりました。お蔭さまで例年にも増して多くの方々に来ていただくことができました。



ここ4,5年父子で早くから一番鐘を撞くために早い時間から来てくれています。

今日は11時前から山門に簡易ストーブを持ち込んで待っていてくれました。

お父さん曰、10年は続けようぜと親子の絆を深めているように思えたことでした。



堂内では書道展もあり、多くの親子連れで来てくれていました。

おぜんざい、うどんのおもてなしをしましたが、

かつての生徒たちが、お手伝いをしてしてくれました。助かりました。



本山奉仕団の申し込みの受付を始めます。申し込みは六月末までに、ご連絡ください。詳細は住職にお尋ねください。多くのご参加、よろしくお願いたします。